

次期サイバーセキュリティ戦略の検討に当たっての基本的な考え方（案）の概要

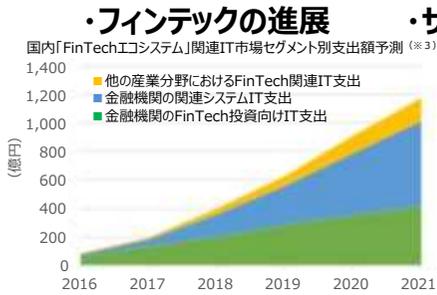
【背景】

サイバー空間におけるイノベーションの進展

AI、IoT等、サイバー空間を前提とする技術やサービスの利用が社会的に受容され、既存構造を覆すイノベーションを牽引。これにより、サイバー空間と実空間の一体化が急速に進展

・AIの劇的進化

深層学習によりAIが「猫」を認識 (※1) 囲碁ソフトがトッププロ棋士に勝利 (※2)

サイバー空間の脅威の深刻化・巧妙化

IoTや重要インフラを狙った攻撃等により、サイバー空間の脅威は深刻化・巧妙化。サイバー空間と実空間の一体化の進展に伴い、実空間における経済的・社会的損失のリスクが指数的に拡大するおそれ

・IoTを狙った攻撃が急増



簡易なID、パスワードを使用した機器が多く感染

・重要インフラを狙った攻撃の深刻化

- ウクライナ電力供給会社への攻撃(2016)
- 身代金攻撃 (WannaCryの感染) による英国医療サービス停止 (2017)



諸外国の政策動向

サイバーセキュリティをめぐり、諸外国においても戦略的取組を強化

<p>米国</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・連邦政府、重要インフラ強化に関する大統領令 (2017) ・オープンでセキュアなインターネットを推進 	<p>英国</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・国家サイバーセキュリティ戦略 (2016) ・防御、抑止、開発 	<p>中国</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・国家サイバー空間セキュリティ戦略 (2016) ・サイバー空間主権確保
--	--	---

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

次期戦略の期間中に開催される同大会に向けた体制整備及び取組の強化を推進

グローバル化、サービス経済化、人材不足を見据えた取組の強化

サイバーセキュリティに係る国際競争力強化、人材育成、国民全体のセキュリティマインドの醸成、推進体制の強化等の必要

検討事項

第一 サイバー空間の将来像と新たな脅威の予測

- ・経済活動、国民生活への変化・影響
 - ・脅威の状況の予測
 - ・諸外国の動向
- 等について、把握・分析・予測

第二 2020年東京オリパラ競技大会とその後を見据えた体制整備

- ・2020年オリパラ大会に向けた体制整備
- ・同大会で得た経験・知見に基づき、大会後の持続的なサイバーセキュリティ強化

第三 新たに取り組む課題と対策の速やかな実施

- ・次期戦略において新たに取り組むべき課題の明確化と対策の速やかな実施を推進

サイバー空間の将来像を視野に入れ、サイバーセキュリティの基本的なあり方を明確化し、次期戦略を策定

(※1) 出典：Google Official Blog (※2) 出典：GIGAZINE
 (※3) 出典：2017年国内の金融分野における第3プラットフォーム需要動向調査 (IDCジャパン)

次期サイバーセキュリティ戦略策定までの主要スケジュール（案）

時期	H29年度(2017年度)			H30年度(2018年度)				
	1	2	3	4	5	6	7	
新戦略関係	閣議						★ 閣議 (新戦略決定)	
	サイバーセキュリティ戦略本部	★ 本部⑯ (基本的考え方等) (1/17)	★	★ 本部⑰ (骨子案等)	★	★ 本部⑱ (パブコメ案)	★ 本部⑲ (新戦略案等)	★ 本部⑳ (年次計画決定等)
	その他 (有識者本部員等の関係者からの意見聴取等を随時実施)				IT総合戦略本部及び 国家安全保障会議 からの意見聴取		パブリック コメント実施	